

法学部

ディプロマ・ポリシー

法学部は、学生が卒業までに身につけておくべきものを次のように定めます。

1. 法学と政治学に関する専門的知識
2. 法学の体系的性を踏まえて、事実を客観的に把握し、論理的に思考し、物事を公正に判断できる能力
3. 現代社会の抱える法的・政治的諸問題を発見し、合理的に解決する能力
4. 「公正」「正義」に代表される法の精神と本学の建学の精神を理解したうえで、市民としての社会的責任を自覚し、社会に貢献できる能力

カリキュラム・ポリシー

法学部では、教育目標を達成するために次のようなカリキュラム・ポリシーを採用しています。

1. 教養科目と専門科目の学修を通じて、幅広い教養と法的素養を身につけ、市民としての社会的責任を自覚できるようなカリキュラムを編成し実施する。
2. 学修の系統性や順次性に配慮した体系的な教育課程を編成し、専門的な知識の修得がしやすいような工夫を行う。
3. 大学での基礎的な学び方を身につけさせるため、初年次教育を充実させる。
4. 両学科の教育目標の特性(法律学科では法律学の体系的知識を踏まえた法的判断能力の養成、現代社会法学科では法的・政治的諸問題を発見し解決する能力の養成)にふさわしい科目配置を行う。
5. 法的判断能力、法的・政治的諸問題を発見し解決する能力を伸ばすのに適していると思われる少人数の演習科目を各学年に配置し、学生のニーズに応えられる多様な内容の教育を行う。
6. 学生の問題関心や希望する進路に応じた科目選択がしやすいように、法律学科ではコース制を、現代社会法学科ではパッケージ制を採用する。
7. キャリア支援科目を配置し、学生のキャリア・デザインを支援する。

アドミッション・ポリシー

法学部では、次のような人を求めています。

1. 社会への強い関心を有し、法学部で身につけた専門知識・能力を活かして社会に貢献しようとする情熱を持っていること。
2. 物事を公正に考え、正義を尊び、他者に共感する心を持っていること。
3. 高等学校における、国語・英語・地歴公民・数学・理科等の履修を通じて、論理的な文章を読解する能力を身に付けていること。
4. 加えて、学科ごとに以下の点を重視しています。
 - ・ 法律学科については、法的諸問題を体系的・論理的に分析しようという意欲を持っていること。
 - ・ 現代社会法学科については、法的・政治的諸問題を実践的・主体的に探究しようという意欲を持っていること。